

平成27年度 森の名手・名人認定証伝達式

平成27年度森の名手・名人認定証伝達式が行われました

平成27年度森の名手・名人に認定された県内の1名に対し、公益社団法人国土緑化推進機構から届いた認定証が10月28日、公益社団法人岐阜県緑化推進委員会会長の 足立 勝利 岐阜県議会議長から伝達されました。

今年度認定された森の名手・名人

加工部門（木地師） こばやし かずお
小林 一雄さん

40年間にわたり木地師としてロク口挽きによる器とスギ板を用いた絵画の制作に従事し、ロク口挽きの器は、材料の仕入れ、荒ぐり加工、乾燥、仕上げ加工、漆塗りまでを一貫して手がけ、スギ板を用いた絵画はスギの生材をキャンパスにして漆等を用いて制作しており、その卓越した技術力が認められました。



左から足立会長、小林さん、瀬上林政部長

平成27年度現在の認定状況

全国の認定者数 1,195名
(本年度71名)

岐阜県の認定者数 45名
(本年度 1名)

※岐阜県の認定者数は、愛媛県53名、長野県49名に次いで全国第3位となっています。

「森の名手・名人」とは

森を護り、育て、その恵みを活かして持続的に循環させていくことの重要性を広く訴え、社会一般が更に森林と向き合っていく気運を醸成することを目的に、「もりのくに・につぼん 運動」が平成14年11月に開始されました。

公益社団法人国土緑化推進機構ではこの運動のリーディングプロジェクトとして、平成14年以降、森や山に関わるきこり 樵、マタギ、炭焼きなどの生業においてすぐれた技を極め、他の規範となっている達人について、その内容により「森づくり」、「森の恵み」、「加工」、「森の伝承・文化」の4部門を設け、「森の名手・名人」として選定しています。